



大矢 訓史様
立命館守山高校 英語科教諭

海外大学に少しでも関心があれば、ヨーロッパ大学留学と聞いて興味を示さない人はいないでしょう。EN EuroEducation 代表の北村さんは、そんな方々とヨーロッパ大学の橋渡し役としてご尽力されています。私が高校生だった頃、海外に興味はあったものの、ヨーロッパ大学への留学なんて発想自体がありませんでした。恐らくですが、進路指導に関わってくださっていた先生方にも、そのような発想がなかったように思います。選択肢の一つとしてヨーロッパ大学進学があっても当然不思議ではないはずですが、まだまだ認知されているとは言えないのが実状です。なぜこのようなことが起こっているのかと言いますと、一つは情報が行き渡っていないということです。教育業界における大手企業などであれば各学校へのアクセスも比較的容易で、説明会なども行われることが多いように思います。一方、北村さんのように個人で活動しておられる方々にとっては、こうしたアクセスがまず第一関門となります。このように、折角有益な情報があったとしても広がらないこともあります。それは非常に残念なことがあります。

ヨーロッパ大学留学と聞くとコスト面での懸念が挙げられるが、思っているよりも安く、日本の大学に進学するよりトータルコストでは低くなるケースもあります。それに大学授業の多くは英語で行われるため、自然と英語力も身につきます。その他にも有益な情報はありますが、こうした情報を発信しておられるのが北村さんです。また、北村さんご自身も海外大学にて学業を修められた経験をお持ちで、海外事情にも精通されているため、一人ひとりに対して親身に相談に乗ってくださり、非常に心強い存在であります。本校でも説明会をしていただき、ヨーロッパ大学に興味を示している生徒がいます。生徒の可能性が広がる貴重な機会を提供していただけたことに心から感謝しております。思い切った進路選択を可能にしてくれるのが北村さんであり、少しでも海外を意識している方々の未来が切り拓かれることを願ってやみません。